

平成24年10月29日

上場取引所 東大福

上場会社名 コカ・コーラウエスト株式会社

コード番号 2579 URL <http://www.ccwest.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 民雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長兼財務部長 (氏名) 角町 誠 TEL 092-641-8585

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	296,400	△3.1	10,457	△21.0	10,460	△20.2	4,507	△25.7
23年12月期第3四半期	305,903	8.8	13,232	42.9	13,106	31.2	6,067	△2.2

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 4,761百万円 (△2.3%) 23年12月期第3四半期 4,875百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	45.09	—
23年12月期第3四半期	60.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	337,796	228,492	67.5
23年12月期	342,560	227,864	66.4

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 228,130百万円 23年12月期 227,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	21.00	41.00
24年12月期	—	20.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	392,800	△1.7	14,700	△10.7	14,800	△7.8	7,400	5.8	74.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	111,125,714 株	23年12月期	111,125,714 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	11,154,677 株	23年12月期	11,153,881 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	99,971,356 株	23年12月期3Q	99,972,990 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、[添付資料] P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

目 次

頁

添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が底堅く推移しているものの、海外経済の減速に伴う輸出不振などを背景として、景気回復の動きに足踏みがみられ、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、昨年の東日本大震災からの反動および夏場の猛暑の影響により市場成長はプラスとなったものの、消費者の節約志向の継続に伴う低価格化の影響などにより、清涼飲料各社を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況であります。

このような経営環境の中、当社グループは、「長期経営構想2020」の第1ステップ「革新と成長の3年」の2年目である平成24年度の経営方針を、『お客さま起点による戦略を市場で着実に実行し、収益・ボリューム／シェアの持続的成長を図る』とともに、『「ビジネスモデルの8つの変革」を実行に移し、中長期的視点での経営基盤の確立を図る』こととし、それによって経営目標を達成するとともに将来に亘って成長を続け、収益力を高める基盤づくりを進めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績の状況は、次のとおりであります。

<売上高>

清涼飲料事業においては、販売数量はほぼ前年通りとなりましたが、消費者の節約志向の継続および夏場の西日本における多雨の影響に伴う販売構成の変化により、売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ99億8千3百万円減少し、2,690億4千6百万円（前年同期比3.6%減）となりました。一方、健康食品事業においては、スキンケア商品の販売が好調であった影響等により、売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ16億8千6百万円増加し、273億5千3百万円（同比6.6%増）となりました。これにより、セグメント合計の売上高は、前第3四半期連結累計期間に比べ95億2百万円減少し、2,964億円（同比3.1%減）となりました。

<営業利益>

清涼飲料事業においては、売上高の減少に加え、原材料・資材価格高騰の影響等により、営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ35億1千1百万円減少し、61億4千万円（同比36.4%減）となりました。一方、健康食品事業においては、売上高増加の影響等により、営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ7億4千8百万円増加し、43億1千6百万円（同比21.0%増）となりました。これにより、セグメント合計の営業利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ27億7千5百万円減少し、104億5千7百万円（同比21.0%減）となりました。

<経常利益および四半期純利益>

営業利益の減少を主要因として、経常利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ26億4千5百万円減少し、104億6千万円（同比20.2%減）となりました。また、経常利益の減少を主要因として、四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間に比べ15億5千9百万円減少し、45億7百万円（同比25.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ47億6千4百万円減少し、3,377億9千6百万円（前連結会計年度比1.4%減）となりました。これは主に、法人税等や配当金の支払いに充当するための譲渡性預金の償還に伴う有価証券の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ53億9千2百万円減少し、1,093億3百万円（同比4.7%減）となりました。これは主に、仕入債務の減少および長期借入金の約定返済によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億2千7百万円増加し、2,284億9千2百万円（同比0.3%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては、次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、197億3千5百万円の収入（前年同期331億5千9百万円の収入）となりました。たな卸資産および仕入債務の増減による運転資金の支出が90億4千5百万円増加したことや、法人税等の支払額が14億8千2百万円増加したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ134億2千4百万円の減少となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、102億7千6百万円の支出（前年同期206億6千3百万円の支出）となりました。当第3四半期連結累計期間において、譲渡性預金の償還等による239億1千1百万円の収入があったことなどにより、当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ103億8千7百万円の増加となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、70億5千6百万円の支出（前年同期82億8千7百万円の支出）となりました。リース債務の返済による支出が減少したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間に比べ12億3千万円の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ24億3百万円増加し、369億6千7百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、依然として厳しい経済環境により消費低迷が継続する中、グループを挙げて収益改善活動を進めた結果、営業利益、経常利益はほぼ計画通りとなりましたが、特別損失の影響により四半期純利益は計画を下回りました。通期の業績予想につきましては、引き続き収益改善活動を継続し、平成24年8月2日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,208	25,830
受取手形及び売掛金	25,335	27,787
有価証券	26,738	22,303
商品及び製品	21,954	21,885
仕掛品	464	675
原材料及び貯蔵品	1,450	2,403
その他	18,550	17,256
貸倒引当金	△504	△616
流動資産合計	119,197	117,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,525	33,012
機械装置及び運搬具（純額）	20,497	19,391
販売機器（純額）	20,820	21,935
土地	52,774	52,330
建設仮勘定	395	2,575
その他（純額）	2,204	1,876
有形固定資産合計	130,218	131,121
無形固定資産		
のれん	47,474	45,384
その他	4,723	4,950
無形固定資産合計	52,198	50,335
投資その他の資産		
投資有価証券	24,583	24,596
前払年金費用	5,827	4,926
その他	11,109	9,782
貸倒引当金	△574	△493
投資その他の資産合計	40,946	38,813
固定資産合計	223,362	220,270
資産合計	342,560	337,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,657	16,494
1年内返済予定の長期借入金	2,542	2,517
未払法人税等	2,750	1,711
未払金	15,656	14,103
販売促進引当金	160	166
その他	6,812	9,119
流動負債合計	46,579	44,113
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	10,273	7,760
退職給付引当金	1,018	975
役員退職慰労引当金	117	132
その他	6,707	6,321
固定負債合計	68,116	65,189
負債合計	114,695	109,303
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,072
利益剰余金	130,655	131,063
自己株式	△25,764	△25,765
株主資本合計	229,195	229,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,703	△1,472
その他の包括利益累計額合計	△1,703	△1,472
少数株主持分	373	362
純資産合計	227,864	228,492
負債純資産合計	342,560	337,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	305,903	296,400
売上原価	157,192	150,088
売上総利益	148,710	146,312
販売費及び一般管理費	135,477	135,854
営業利益	13,232	10,457
営業外収益		
受取利息	50	61
受取配当金	165	158
負ののれん償却額	207	—
持分法による投資利益	333	123
その他	349	402
営業外収益合計	1,105	746
営業外費用		
支払利息	520	473
固定資産除却損	403	157
その他	307	112
営業外費用合計	1,231	742
経常利益	13,106	10,460
特別利益		
固定資産売却益	382	—
投資有価証券売却益	49	—
特別利益合計	431	—
特別損失		
災害による損失	35	39
投資有価証券評価損	14	170
たな卸資産処分損	490	—
節電対策費	352	—
品質問題対策損失	—	611
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	726	—
特別損失合計	1,619	821
税金等調整前四半期純利益	11,918	9,639
法人税、住民税及び事業税	2,806	2,770
法人税等調整額	3,010	2,337
法人税等合計	5,816	5,108
少数株主損益調整前四半期純利益	6,102	4,530
少数株主利益	34	22
四半期純利益	6,067	4,507

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,102	4,530
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,233	227
持分法適用会社に対する持分相当額	6	3
その他の包括利益合計	△1,226	230
四半期包括利益	4,875	4,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,840	4,738
少数株主に係る四半期包括利益	34	22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,918	9,639
減価償却費	15,898	15,324
のれん償却額	2,023	1,982
負ののれん償却額	△207	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,519	△35
前払年金費用の増減額 (△は増加)	4,810	900
受取利息及び受取配当金	△215	△219
支払利息	520	473
持分法による投資損益 (△は益)	△333	△123
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△49	—
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	14	170
固定資産売却損益 (△は益)	△371	6
固定資産除却損	391	111
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,591	△2,550
たな卸資産の増減額 (△は増加)	389	△1,094
その他の資産の増減額 (△は増加)	360	695
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,398	△2,162
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,271	858
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	726	—
その他	237	104
小計	35,686	24,097
利息及び配当金の受取額	208	216
利息の支払額	△422	△370
法人税等の支払額	△2,743	△4,225
法人税等の還付額	431	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,159	19,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△9,592	△16,215
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	4,649	23,911
固定資産の取得による支出	△17,103	△17,456
固定資産の売却による収入	1,449	305
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	553
長期貸付けによる支出	△223	△346
長期貸付金の回収による収入	172	344
定期預金の預入による支出	△224	△1,765
定期預金の払戻による収入	215	380
その他	△7	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,663	△10,276

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,538	△2,538
自己株式の取得による支出	△2	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△3,998	△4,098
少数株主への配当金の支払額	△6	△33
その他	△1,741	△384
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,287	△7,056
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,208	2,403
現金及び現金同等物の期首残高	37,434	34,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,643	36,967

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高				
外部顧客への売上高	279,029	25,667	1,206	305,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	279,029	25,667	1,206	305,903
セグメント利益	9,652	3,568	11	13,232

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	清涼飲料事業 (百万円)	健康食品事業 (百万円)	合計 (百万円)
売上高			
外部顧客への売上高	269,046	27,353	296,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	269,046	27,353	296,400
セグメント利益	6,140	4,316	10,457

(注) 売上高およびセグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上高および営業利益とそれぞれ一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「その他事業」を営んでいた中国ピアノ運送株式会社は、平成24年1月31日付で当社が所有する全株式を売却したことに伴い、平成24年1月1日をみなし売却日として連結の範囲から除外しております。この影響により、「その他事業」の資産はなくなりました。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

上述の中国ピアノ運送株式会社の株式の売却に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「清涼飲料事業」、「健康食品事業」、「その他事業」の3つの報告セグメントから、「清涼飲料事業」、「健康食品事業」の2つの報告セグメントに変更しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。